

市民の広場・文京

文京区議会議員 無所属
か い づ あ こ
海津敦子
新人の目で見た!! 区議会報告
Vol.1

2011年 夏号

連絡先
電話 080-4067-8910
住所 文京区小石川3-30-11 3階
アドレス :bunkyokugi@yahoo.co.jp
市民の広場区議控室
電話 03-5803-1319
区政に対する率直な意見を日々、書きつづけています
http://blog.yahoo.co.jp/bukyokugi
「海津敦子ブログ」検索

海津敦子
区政の相談室
学校、子育て、介護、ご近所等々、何でもご相談ください。一人で、家族だけで抱え悩み考えていると、迷路に入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決を弁護士と共に考えていきます。

人材育成

改革志向の職員

区長「職員の資質向上」明言

新人議員として初めての議会「平成23年第二回定例会」が7月1日に終了しました。議員の常識ではなく、区民の常識で議員活動をしていくと固く心に誓って臨んだ区議会。まずは初議会の感想を報告します。

区民が実感できてこそ

区長は所信表明で「区長としてリーダーシップを発揮し、改革志向の職員と一丸となつて、全力を注いでまいります」と(改革志向の職員とは、既成概念にとらわれない柔軟な発想や新しい試みに果敢に挑戦する姿勢を持った職員)と宣言しました。例えば、「先進的な施策を立案できる能力」を身につけ区民サービスの向上を



田中議員は「地域に福祉避難所や緊急入所を必要とする人がどれくらいいるのか把握し、その方たちの引き受け可能施設を確保を平常時にしておくべきではないか。また福祉避難所設・運営のマニュアルを厚生労働省のガイドラインを参考に作成してはどうか」と質問を行いました。

「地域防災計画」において、特別区長として活用するが、新福祉センターを新たに付け加えることを含め、まずは、要援護者への援助のあり方について地域防災計画の修正の中で検討していく。したがって、**マニュアルを作成する段階ではない**



海津敦子の考え
災害時に「想定外」ということを極力減らすことを行政は求められている今だけに、縦割り行政から脱却して様々な課がつながり「福祉避難所を必要とする人の数」を把握するのは、要援護者への援助の在り方を検討するためにも当然やらなければならないこと。要援護者の対象者の範囲を示し、「一体化」といった仕掛けが必要不可欠で

どうする、福祉避難所

訪問看護ステーションや福祉施設、地域包括支援センターなどの協力を得れば在宅で医療ケアを必要としている人なども含め、医療品の備蓄を十分に確保しておくためにも**必要不可欠な調査**です。また、福祉避難所に避難する方々が地域から取りこぼされることのないよう、日常から要援護者と地域とがつながっていることが大切で、そのためには「住民の地域活動施設と福祉施設の



海津敦子の考え
放射性セシウムに汚染

本会議は「議場」で行われます
お、食材の納品を受ける際には、産地の確認を行い、記録を義務付けるとともに、調理作業を行う前には入念な洗浄を行うことで安全な給食の提供を行っていく。

放射能対応、給食は?

された肉牛が市場に出回ったことが報道されるとすぐに、保護者から「こうしたことを心配していた」と給食の食材を心配する声が寄せられました。そうした保護者の不安に「考えすぎだ」「冷静に」となだめ、「大丈夫だから」と伝えようとする説得力もありません。保護者は正確な情報の下、自分で判断したいと考えています。区は「出回ることはない」を前提にすることから脱却し、「出回ることもある」という想定の下で、出回ったとき、給食の食材に利用したかどうかの調査の在り方、結果の報告の仕方、食材として万が一利用することがあったときの対応等々、教育委員会だけで考えることなく、**保健衛生部等とも連携**して具体的に伝える丁寧な情報提供が必要。まさに柔軟な発想で様々なことを想定した危機管理ができる改革志向の職員が望まれます。



田中議員の「学校給食の放射線対応について」

す。計画を立てる上でも、福祉避難所への避難をする人の数を把握することは必要不可欠です。さらには、いつ大災害が起こるともわからない中「福祉避難所のマニュアルを作成する段階にない」との回答は、**区民が抱く危機感とのズレ**が見えます。避難所の運営で右往左往すれば、誰もにストレスがさらにかかるとは明白です。それだけに、マニュアルは、要援護者への援助の在り方の修正と同時に進行で作るべきものです。改革志向の職員であれば「どうしたらできるか」、知恵を絞り迅速にマニュアルを作成することに取り組むべきです。

東日本大震災による都の液状化は「江戸川から大田区にかけての7区で被害」がありました。その被害の中には、都が作成している「液状化予想図」で「液状化の発生が少ない地域」として黄色で色分けした地域も含まれていました。そのため、都は24年度末をめどにして液状化予想図の修正を予定と発表しています。ちなみに、文京区内にも液状化予想図で黄色地域に指定されるところが点在します。

海津敦子の考え「立ち止まり、見極める」そういう勇氣を持つことも重要です。再開発地区の超高层建筑建設を、都の新しい液状化予想図を待ち、方向性を出すことも区民の安全、安心を守る重責を担う区長としてとるべき判断ではないでしょうか。液状化の危険が増し計画変更を余儀なくされたときには、むしろその代償は大きいのではないのでしょうか。経済的コストを算してみる必要を感じます。そもそも、再開発地区の近辺で液状化が発生するかもしれないことを、想定した再開発デザインになっているのでしょうか。都市計画を担当する課だけでなく、環境といった広い角度からあらゆることを想定し「想定外」を減らした再開発デザインが重要です。また、そこであつた検討課題、解決法を例えればリスクとコストも含め、区民に速やかに情報提供し、意見を求めることも必要です。ちなみに、基本構想は「区政情報を正確かつ迅速に提供し、説明責任を果たし、誰もが同じ目線で語り合い、それぞれの持ち味を存分に発揮できるまちづくりを推進する」ことを、区民に約束しています。区民が実感できるよう改革志向の職員が具現することが重要です。

「新都市マスタープラン」で絶対高制限からはずされ、都市核と命名された地区の中に液状化予想図で黄色に色分けされたところがあり(ラクリアのあたり)、再開発で141mの超高层建筑が計画されている地区がそれに近接しているのは大変気になります。この辺りはおそらく川が暗渠化された地帯で、大雨のとき水の出やすい軟弱地盤。区は深いところにある固い地盤まで杭を打つので安全性に問題はないと言っているが、東京都の見直しを待たずに安全と断言するのは危険ではないか」

液状化でも再開発 GOか

再開発地区の近辺で液状化が発生するかもしれないことを、想定した再開発デザインになっているのでしょうか。都市計画を担当する課だけでなく、環境といった広い角度からあらゆることを想定し「想定外」を減らした再開発デザインが重要です。また、そこであつた検討課題、解決法を例えればリスクとコストも含め、区民に速やかに情報提供し、意見を求めることも必要です。ちなみに、基本構想は「区政情報を正確かつ迅速に提供し、説明責任を果たし、誰もが同じ目線で語り合い、それぞれの持ち味を存分に発揮できるまちづくりを推進する」ことを、区民に約束しています。区民が実感できるよう改革志向の職員が具現することが重要です。

市民の広場・文京

- 区民の暮らしを支える施策、予算がどのように決まっていかが皆さんに「見えるよう」情報を公開する
 - 区民不在で物事が決まっていかないうにじつがりとチェック
 - 区民の願いと区政のズレがなぜ起こるかじつがりと分析し、問題解決を図る仕組みや施策を作る
- 同じ志を持つ、浅田保雄議員、田中和子議員、藤原美佐子議員、前田くにひろ議員そして、海津敦子の5人が集まり作った会派です。力を合わせ区民の一人一人が幸せを感じられるよう努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



区議会メモ「会派」
市民の広場以外には、これまで民主クラブを名乗っていた民主党区議団が「区民クラブ」6人へと改めた会派のほか、「自民党」8人、「日本共産党」6人、「公明党」5人、「みんなの党」2人、「国民新党」1人、「新風会」1人がいます。

文教委員会から

6/24・27

放射能測定

区は学校等の放射能を測定し値を迅速に情報発信しないことが長く続き、保護者達からは相当に不安な声が寄せられていました。そうした中、ある学校は独自に家庭やプールの放射能を測定し「基準値内であった」ことを学校HPに掲載し保護者から喜ばれていました。ところが教育指導課は学校に「区長が放射能を測らないと決めたのに測ってHPに掲載するのは区民を混乱させる」という理由で、HPから放射能情報を削除させました。区民目線では考えればそうした指導こそが区への不信感を募らせ混乱のもとになると思っています。特色のある学校づくりを掲げる区でありながらも、公立学校の足並みをそろえさせ「横並びを大事にする」姿勢はなかなか変わりません。

「放課後全児童向け事業」の実施

林町小で新たにスタートしました。しかし、全児童向けとの事業でありながらも、特別支援学級に在籍する子供は保護者の同伴が参加条件となっていました。障害の有無で格差をつけるというのは「すべての子育て支援」を掲げる文京区としては配慮に欠けるスタートです。区として信頼を失わないためには、「有言実行」が大事です。

（仮称）千石地域拠点施設の基本設計

中には育成室が二つできる予定です。それぞれが定員いっぱいになれば88人の子ども達がひしめき合うことになり、事故の心配が保護者からあがっています。実は、事前に保護者から十分な聴きとりをしないまま設計がされています。

「学校選択制度」に関するアンケート調査集計結果

公立中学1年生徒、その保護者に学校選択制の下で「学校を選んだ理由」などを毎年調査しています。結果は各中学校の運営に活かされていないことがわかりました。何のために実施するアンケートかわかりません。また、調査対象から除く明確な理由も根拠もありません。特別支援学級の生徒、その保護者をアンケート調査から除外してしまっています。文京区教育委員会の「権威感のなさ」がうかがえます。

文京区男女平等参画推進計画

計画の中には「委員会、審議会等の男女平等参画の推進」という項目があり「男女いずれが一方の性が委員総数の4割未満にならない」ことを目標としています。ですが22字から透けて見えるのは「女性委員の参加はゼロ。ゼロという数字から透けて見えるのは、目標を誠実に実践する」という「やる気」の欠如です。結果として区民を愚弄しているように見えます。改革志向の職員は勇気を奮い起こし、目標がお飾りとなっている現状を打破していくことが大切です。私も発言していきます。

課題山積

文京区特別支援教育推進モデル校の検証報告

3年間、税金を投入して行ったモデル校の検証でありながら、会議の議事録はなく、どのように検証したのか「不透明」でした。なおかつ内容、そのものも不正確な物でした。例えば特別支援教育を区内に広める上で大事にすべき点がモデル校事業で具体的に明らかになっていないにも関わらず、検証報告では書かれていません。現行の制度上に限界はないのに「制度上に限界がある」という「間違っただけ」も明記。特別支援教育に対して「教育委員会の理解不足が、図らずも露呈する検証報告でした。ちなみに、そうした間違いを訂正し、検証報告を再度作成することを求め

平成22年度文京区学習内容定着状況調査

中2と小5に実施され、中2の調査で小学校の学習が定着できていない生徒がいることがわかりましたが、そうした調査結果を小学校へはまったく伝えていませんでした。そのため、どうしたら定着させられるか小中学校で研究はされなままです。もったいない調査をすることが目的になって終わるのでは「税金の無駄遣い」になります。また教育委員会が「調査」の意味を理解できていない下で子どもが育つのは不幸です。教育委員会の資質向上が急務です。

実践するということ「やる気」の欠如です。結果として区民を愚弄しているように見えます。改革志向の職員は勇気を奮い起こし、目標がお飾りとなっている現状を打破していくことが大切です。私も発言していきます。

区議会メモ
文京区議会定例会
 「定例会」が年に4回あり、2月、6月、9月、11月に開かれます。定例会の間には臨時会が開かれます。次回 9月9日～

区民目線で評価

自治制度・行財政システム調査特別委員会(6月21日)

新たな行政評価は、職員等の自己満足で終わることなく、区民にとってどうであるのか、客観的な視点で評価していく必要があります。が、これまでの事業評価そのものは、「研修を行った」といったことだけで高く評価し、研修をどう生かしたか「区民サービスの向上につながったか」ということは「気にかけない」というレベルです。それだけに職員意識改革が評価を行う上での必須条件です。

文京委員会委員会室。どなたでも傍聴できます。

少子高齢社会対策調査特別委員会(6月22日)

子育て施策や高齢者施策を、区民の「今」に間に合うように区が適切に実践していくためには、「児童虐待」「高齢者虐待」を調査することで、子育てや高齢者介護の「支援や施策、地域連携」の課題が具体的に浮き彫りになり、具体的な改善につなげていけると思っています。



～海津敦子ブログより～

「やっぱり…」

やっぱり…人生は思いもよらないことがいっぱいありますね。大地震、放射能…とは比較にならないほどのことだけ、未婚を授かるまで私の未来予想図に、障害のある子の親になる私はいませんでした。

ある親御さんが、「誰かが『あなたには障害児の親になりませんよ』と保証してくれたわけでもないのに障害児の親になるなんて考えたこともなかった」と言っていました。まさに同じ思いです。

それにしても、障害のある子の親にならなければ、本を出版することも、大学で講義をすることも、まして議員として、こうしてブログを書くこともなかったでしょう。

さてさて、議員になって思いもかけずというよりは、「やっぱり」ということがいくつもあります。そのひとつには、これまで区民として尋ねていくと「またきたのか?」というオーラを発散し、時には怒鳴って対応してきた管理職が、議員になったとたんにかウンターにいる私のところへくるにあたり、脱いでいたジャケットをわざわざ着て、にこやかに説明をしてくれたことがあります!

「席順でわかる…」

議場の席は、議長の席から見て左側は、区長の示す予算案に最初から賛成を決めている?と言われる与党?自民、区民クラブ、公明の議員が固まって座っています。

右側からは無条件には予算に賛成しない?とみられる野党?が座る席順になっているようです。一説によると、与党?野党?で別にしてそれぞれ一塊にしておく、採決等の折に「賛成反対」がきれいに分かれて、議長が見やすいからとか…?。

議場の席は、議長の席から見て左側は、区長の示す予算案に最初から賛成を決めている?と言われる与党?自民、区民クラブ、公明の議員が固まって座っています。右側からは無条件には予算に賛成しない?とみられる野党?が座る席順になっているようです。一説によると、与党?野党?で別にしてそれぞれ一塊にしておく、採決等の折に「賛成反対」がきれいに分かれて、議長が見やすいからとか…?。